

機関紙「隊友」の手配り、相互連絡網の確立、行事などへの参加等により、横浜北支部の活性化を図りましょう。北支部の行事等を含め連絡致します。

明けまして御目出とうございます。横浜北支部の皆様方は、良き年をお迎えの事と存じます。

今年も宜しくお願い致します。新年ですので横浜北支部長の年頭の挨拶を行います。

令和 2 年・横浜北支部長 年頭挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

横浜北支部会員の皆様方におかれましては、穏やかに佳き新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。本年も宜しくお願い致します。

さて、国際情勢を顧みますと、自国第一主義を掲げる米国と、経済・軍事の両面で台頭する中国との覇権争いの様相で米中貿易摩擦は深刻化し、既存の国際秩序が揺らぎ、世界情勢は一段と不透明さを増しています。

北朝鮮は、米朝首脳会談が膠着状態にあり、昨年 10 月に潜水艦発射弾道ミサイルの試験発射を行い、党中央委員会総会では金正恩委員長は朝鮮半島の非核化は永遠にない、新たな戦略兵器を保有すると発言しています。

大量破壊兵器や弾道ミサイル開発の推進及び運用能力の向上を引き続き図ると共に大規模な特殊部隊を保持するなど非対称的な軍事能力を強化しています。

北朝鮮は我が国のほぼ全域を射程に収めるノドンミサイルを数百発も実戦配備しており、日本にとって依然として脅威の認識に変わりはありません。

また、中国は、尖閣諸島周辺海域において海軍艦艇、武装公船及び海・空軍機の行動を継続的に拡大・活発化させており、安全保障上の不安定要因はより深刻化しています。南シナ海の南沙・西沙諸島においては、引き続き人工島の造成拡大や軍事施設の整備等軍事拠点化を強力に推進すると共に軍の活動を活発化させ、力を背景とした現状変更の既成事実化を進展させています。

習近平政権は、「中華民族の偉大な復興」「中国の夢」という国家主義的なスローガンを掲げ、「一带一路」の展開による世界制覇戦略を全面的に推し進めていくことにより、国家を支える経済力、技術力と軍事力で人類最強の国となり、中華民族が「世界の諸民族の中に聳え立つ」夢を実現すると繰り返し公言しています。

習政権は、チベット、ウイグルなどで人権弾圧を加えており、香港では民主化運動に弾圧を加え、香港返還から 50 年間、高度な自治を保障した「一国二制度」の約束を反故にしています。次は台湾という見方が一般的で、習主席は台湾の「祖国統一は必須であり、必然だ」と演説し、「平和統一、一国二制度」の基本原則を堅持する姿勢を示しながらも、武力行使を辞さないことを強調しています。

日本は、このような不安定化・深刻化を増す現実的な脅威に直面する安全保障環境にあって、経済大国でありながら自国の防衛を全面的に米国に頼らなければ生き残れません。これは憲法の制約によることでもあり、世界の普通の国として、日本

の安全・平和を守り、日本国民の生命・財産を守ることでできる軍事力を保有し、有事に有効に運用・行使できるように憲法を改正することが必要でありましょう。

憲法改正について、少しずつ機運の盛り上がりが見られるようになり、神奈川県隊友会としても「憲法改正を実現する神奈川県民の会」に協力しています。

憲法改正に関する各種フォーラムやイベント等の開催においては、会員皆様のご参加・ご協力を宜しくお願い致します。

以上の情勢認識のもと、隊友会活動の旗印である「自衛隊と国民のかけはし」として、今年も微力ながら、現職自衛官の任務行動における家族支援協力や憲法改正運動への積極的な協力及び防災対策・対処行動に努めますと共に神奈川県隊友会・横浜北支部の活性化・充実に尽力して参りますので、相変わらぬご支援、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

末筆ながら、会員の皆様方にはご健勝にて充実した一年となりますようお祈り申し上げます。

令和2年1月 元旦 神奈川県隊友会横浜北支部長 青木利夫

昨年末に、坂田 直起さんが「白い山茶花」の写真を持って来ました。花は大輪に見えるようでした。バックにうすいピンクの花が写っていました。

純白の 衣にかおる 山茶花は 師走の店に 人招き入れ 清水 玉江

山茶花や 吹っ飛ぶニュース 株ゴーン 山本 芳江

山茶花は 風と語らう ために散る 中島 邦秋

1月9日デイ・サービスに行ったら、宗匠の中島さんにお会いしました。以前中島さんからお孫さんが、陸自高等工科学校に入り、現在土浦の武器学校で研鑽に励んでいると、お聞きしました。最近自衛隊で良くテレビに登場する、カズレーザーが土浦駐屯地を訪問して記念撮影をしたとか。写真を見せて頂きました。カズレーザーが紹介してくれるのは、PRして貰いたいものです。

今年の箱根駅伝は、青山学院大学の2年ぶり5度目の総合優勝で飾りました。強いですね。底力に敬意を表します。原監督の指導法を巡って、学生と対立し、退部した学生が居たとか、現代の学生の指導も大変ですね。総合2位は昨年総合優勝した東海大学が往路4位、復路優勝しました。近頃めきめき力をつけています。

総合3位は、昨年出雲駅伝優勝した國學院大学でした。10区の殿地（でんち2年）選手がラスト1キロで4位帝京大学、5位東京国際大学を追い抜いて3位になりました。3位の國學院大学から5位東京国際大学のタイム差は僅か7秒でした。6位の明治大学まで23秒差でした。今年はシード権の初めて獲得したチームは5位の東京国際大学と9位の。創価大学でした。我が母校中央大学は、昨年の子選会からの出場校は10校中10番目が中央大学でした。20校中12位でした。今の

実力から言えば出来過ぎでしょう。駅伝の楽しみは、優勝争いとシード権の獲得争いがあります。今年シード権争いが面白かったですね。来年また期待しましょう。

《東京オリンピック・パラリンピック支援事業について（前号の続き）

別紙 2

TO : 神奈川県隊友会 (FAX 045-305-3595)

東京オリンピック・パラリンピック警備業務申し込み表

番号	項目	
1	氏名 (ふりがな)	
2	生年月日	
3	住所	〒 —
4	自宅電話	
5	携帯電話	
6	メールアドレス	
7	事前教育希望	

制服

帽子サイズ	上衣サイズ	ズボンサイズ	警備靴サイズ

東京オリンピック警備支援参加者募集

1、趣旨 東京オリンピックの警備は、当該競技大会警備共同企業体が担当する。この企業体に参画する警備会社は所要の任務（警備員の派出等）を分担する。神奈川県隊友会特別会員の月森清一氏が社長を務める東亜警備保障(株)は、この企業体に参画しており、警備員を神奈川県隊友会からも募集するものである。なお、参加者には所定の給与（時給）が支給されると共に制帽・制服・警備靴が支給される。但し、警備体制、警備要領等に未定部分があり、取り敢えず事前講習を受ける人を募集します。

2、募集期間 令和元年12月16日（月）～令和2年2月29日（火）

3、募集人員 10名（20名中既に10名受付）

4、申込用紙 FAX：申し込み表：別紙1-2

5、制服サイズ表 次ページです。

6、事前教育の概要

(1) 時期 第1回 4月8日（水）～10日（金）09：00～17時

(2) 第2回 5月13日（水）、15日（金）、16日（土）09：00～17：00

第3回 5月30日（土）、31日（日）、6月1日（月）

(2) 場所 ポーノ相模大野 サウスモール 3F ユニコムプラザ 相模原市相模大野3-2-1
（相模大野駅徒歩3分）

(3) その他 ア、参加費 21000円が支給。

イ、昼食は支給。

ウ、交通費支給、

エ、事前教育を受講すると、希望者はオリンピック以外の警備業務にも就くことができる。

7、東京オリンピック警備支援の概要（参考）

(1) 期間 R2年7月22日（水）～8月9日（日）

(2) 場所 横浜国際競技場（サッカー） 横浜スタジアム（野球・ソフトボール）

(3) 警備計画（略）

(4) 給 与 1,700 円/時間 交通費支給

(5) 会社が警備保険に加入。

8、その他 隊友会担当の大西さんの連絡先：090-7731-8107

帽 子									
	サイズ	頭まわり							
制帽	M	54～57							
	L	58～61							
	LL	62以上							
シ ャ ツ									
	サイズ	胸周り	肩幅	袖丈	衿丈	着丈	首回り	胸周り	身長
男子シャツ	S	106	45	57.5	80	72	39	86	160～175
	M	112	46	59	82	76	40	87～92	165～180
	L	118	47	60.5	83	76	41	93～98	170～185
	LL	124	48	60	84	80	43	99～104	175～190
	3L	131	50	61	85	80	45	105～111	180～195
	4L	138	52	62	88	84	47	112～118	185以上
	5L	145	54	63	90	84	49	119～125	185以上
	6L	151	56	64	92	86	51	124～131	185以上
7L	157	58	65	92	86	53	132～137		
パ ン ツ									
	サイズ	ウエスト	ヒップ	股上	股下	裾幅	ウエスト	ヒップ	身長
男子パンツ	S	72	96	25	74	19	72以下	90以下	160～175
	M	77	101	25		19	73～77	91～95	
	L	82	106	26	77	20	78～82	96～100	170～190
	LL	87	111	27		20	83～87	101～105	
	3L	92	116	28		21	87～92	106～110	
	4L	97	121	29		22	93～97	111～115	
	5L	102	126	30	74	23	98～102	116～120	160～175
	6L	107	131	31		24	103～107	121～125	
7L	112	136	32		25	108～112	126～130		
警備靴									
	サイズ								
靴サイズ	22								
	22.5								
	23								
	23.5								
	24								
	24.5								
	25								
	25.5								
	26								
	26.5								
	27								
	27.5								
28									

28.5
29
29.5
30
30.5
31
31.5
32

《編集後記》昭和20年3月10日の本所・深川を中心とする下町の空襲以降攻撃の手は緩める事無く続きました。1年生の3学期も終わり、私達は、はれて2年生になりました。新1年生も入学して後輩が出来ました。然し2年生になった途端、勤労働員が始まりました。先輩方と違って軍需工場でなく土木作業でした。勤務先は世田谷区土木事務所だと思いましたが、記憶が曖昧です。中学校は徒歩通学でしたので定期を支給されたのは大きな喜びでした。多摩川電車（通称玉電と言いました）。一寸玉電の話をししましょう。2系統ありました。渋谷から三軒茶屋経由で1本は二子玉川行き、もう1本は渋谷から三軒茶屋経由下高井戸行きでした。全て路面電車でした。パンタグラフはポール状になっていました。三軒茶屋までは一緒ですが、レールが自動的に動いて電車はその方向に進んでいました。現在は東急田園都市線・営団地下鉄半蔵門線、下高井戸方面は東急世田谷線と呼んでいます。この線はスピードも遅く何ともローカルな電車でした。昭和の時代にぴったりの感がしています。

玉電はこのくらいにして、本論に入ります。左上腕部だと思いますが、白布に「勤労報国隊〇〇中学校」と書いて縫い付けていた様に思います。我々の作業は貯水槽の作成・防空壕の便所造りでした。貯水槽は一片10メートルの四角い穴を掘り、歩道の敷石（平板と言いました）を貯水槽の側面に貼り付けました。防空壕の便所作りは「何でこんな事をやるの」「外でやればいいのに」と思っていました。長時間壕内にいるなんて考えておりませんでした。終戦までに何個作っていたのは残念ながら覚えておりませんでした。米軍の空襲は、数多くの都市を爆撃しました。毎晩の事なので睡眠不足になりました。

東京大空襲が再開しました。場所は山手線以外の外側の区域でした。私が住む世田谷は戦災に遭った地域と免れた地域がありました。私の地域は、幸いにして戦火を免れました。時期は昭和20年5月23日と25日の2回でした。特に23日私にとって忘れられない日でした。昼間の攻撃と違い低空で進入して来るので、高射砲がB-29に命中する事があります。小田急線の千歳船橋にあった高射機関砲は良く命中しました。心強かったですね。この機関砲は暫くしたら音がなくなりました。何時の間にか音がなくなりました。新潟県に配置転換したと噂が流れました。音が聞こえなくなるとまた淋しくなるもんですね。京王線仙川の西側斜面に高射砲陣地がありました。

23日に戻ります。夜空襲を受けました。B-29で、何処かで被弾して1機が上空を火の玉で通過していきました。火の玉の下は新聞を読む事が出来る様でした。この火の玉は通り過ぎたのが、Uターンして戻ってきました。火は渦を巻いて回転しながら真上にきました。その下は逃げ惑う人の群れが走って逃げ惑いました。20メートル走って上を見ても真上でした。北へ逃げる我々と南に逃げる人々がぶつかりあっていました。やっと農道に辿りついて人の姿も少なくなりました。

やがて火の玉が落ち増した。火の玉は落ちた瞬間に真っ暗になりました。人も何処かに行ってしまう。静寂さが戻ってきました。私は、家に着く時に何処を歩いてきたのかわかりませんでした。家の前で隣家の高野さん(小学校の先生)が「おい、どうした」と声をかけられ、われに帰りました。翌日約400メートル離れた防空壕の上に米兵の遺体がありました。この家の人の言では、「どさっ」と何か音がしたので。夜が明けてみたら米兵の遺体だったそうです。発動機は、日本大学下高井戸キャンパスのグラウンドに1つ。私の家から約400mの畑に1つ、(4発だったと思います) 胴体は下高井戸と経堂の中間の田圃の中にありました。胴体に絵が書いてありました。地球の上に軍鶏が高らかに雄叫びを上げている爆弾は19個絵が描いてあるので20回目の出撃だったのでしょう、

この中で捕虜が1名捕らわれたという話がありましたが。真偽の程は不明です。

編集発行人 〒225-0005 横浜市青葉区荏子田 2-28-20 TEL・fax045-902-3864 横浜北支部 植松
昇